

厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法第一項第五号の規定に基づき  
厚生労働大臣が別に定める者の一部を改正する件

○厚生労働省告示第二十五号

厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法（平成二十年厚生労働省告示第九十三号）第一項第五号の規定に基づき、厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法第一項第五号の規定に基づき厚生労働大臣が別に定める者（平成二十四年厚生労働省告示第四百十号）の一部を次のように改正し、平成二十九年二月一日から適用する。

平成二十九年一月三十一日

厚生労働大臣 塩崎 恭久

別表一の25の項を次のように改める。

ニボルマブ（遺伝子組換え）（当該薬剤の添付文書において記載された効能又は効果（平成26年7月4日に、旧薬事法第14条第1項の規定により承認されたものに限る。）に係るものに限る。）	3163及び3166
25 ニボルマブ（遺伝子組換え）（当該薬剤の添付文書において記載された効能又は効果（平成27年12月17日、平成28年2月29日及び同年8月26日に、医薬品医療機器等法第14条第9項の規定により、既に承認された効能又は効果の変更について承認されたものに限る。）に係るものに限る。）	1956から1958まで、 1967、1968、1977、 1978、3163、3166及 び3480から3491まで

厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法第一項第五号の規定に基づき厚生労働大臣が別に定める者の一部を改正する件  
 新旧対照条文

◎厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法第一項第五号の規定に基づき厚生労働大臣が別に定める者 (平成二十四年厚生労働省告示  
 第四百十号) (抄)

(傍線の部分は改正部分)

改正案

現行

別表一		別表一	
薬剂	番号	薬剂	番号
1～24 (略)	(略)	1～24 (略)	(略)
ニボルマブ (遺伝子組換え) (当該薬剤の添付文書において記載された効能又は効果 (平成26年7月4日に、医薬品医療機器等法第14条第1項の規定により承認されたものに限る。)) に係るものに限る。)	3163及び3166	ニボルマブ (遺伝子組換え) (当該薬剤の添付文書において記載された効能又は効果 (平成27年12月17日、平成28年2月29日及び同年8月26日に、医薬品医療機器等法第14条第9項の規定により、既に承認された効能又は効果の変更に係るものに限る。)) に係るものに限る。)	1956から1958まで、1967、1968、1977、1978、3163、3166及び3480から3491まで
25	1956から1958まで、1967、1968、1977、1978、3163、3166及び3480から3491まで	25	1956から1958まで、1967、1968、1977、1978、3166及び3480から3491まで
26～57 (略)	(略)	26～57 (略)	(略)